フレキシブル ラジオ アサインメント（ソフトウェアの概要）

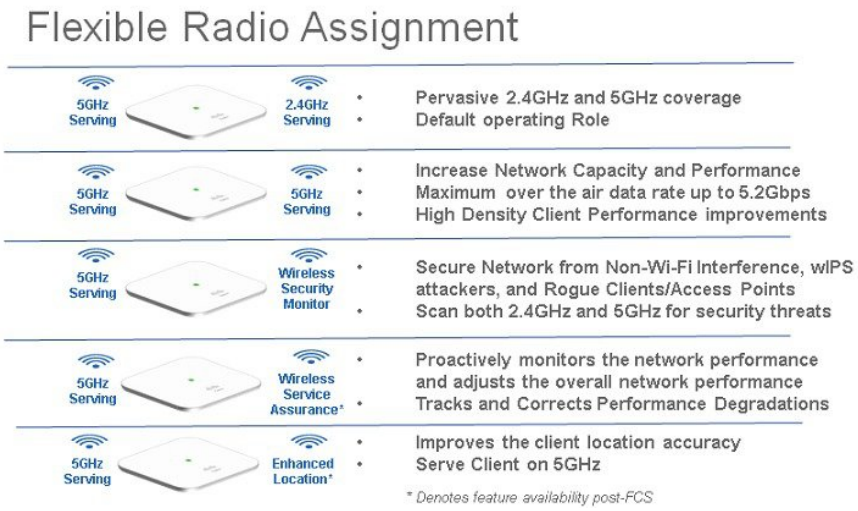
• フレキシブル ラジオ アサインメント（ソフトウェアの概要）　（1 ページ）

フレキシブルラジオアサインメント（ソフトウェアの概要）

AP 2800 および 3800 には柔軟な無線アーキテクチャが含まれています。ある意味で AP はトライバンド無線です。なぜなら、クライアントとネットワーク内のさまざまな機能に割り当て可能な別のフレキシブル ラジオ（XOR 無線という）にサービスを提供する専用の 5-GHz 無線を含むからです。

フレキシブル無線は、AP 3700 用の Cisco WSSI/WSM モジュールで使用されていた、以前の XOR 無線に似ています。しかし、この新しい柔軟な無線モジュールは 2.4-GHz または 5-GHz のどちらかでクライアントにサービスを提供するか、メインの 5-GHz 無線がクライアントにサービスを提供する間に柔軟な無線上で 2.4-GHz または 5-GHz の両方をシリアルにスキャンするように構成することができます。

図 *1:* フレキシブル ラジオ アサインメント



フレキシブル ラジオ アーキテクチャ（FRA）システム

専用の 5–GHz 無線に加えて、AP2800 および AP 3800 などの FRA 対応 AP には追加の統合 2.4/5–GHz XOR「選択可能無線」があり、柔軟性を高めています。

FRA システムは以下の構成を持つ特殊な XOR 無線を使用します。

- 同じシリコン基盤の 2.4-GHz および 5-GHz
- クライアントへのサービス提供に 2.4-GHz または 5-GHz を選択可能（デフォルトは 2.4-GHz）
- すべての 2.4-GHz および 5-GHz チャネルのシリアル スキャンが可能（モニタ「WSM」モード）
- 役割選択は手動または自動 RRM
- 3700 向けの以前の WSSI または WSM モジュールは設計上 XOR
- この機能は AP 2800 および AP 3800 に統合

FRA システムの利点は多数あり、次の問題に対応します。

- 2.4-GHz 過剰カバレッジの問題を解決
- 2 つの異なる 5-GHz セルを作成して、使用可能な通信時間を倍増
- 1 つのイーサネット ドロップを持つ 1 台の AP が 2 台の 5-GHz AP のように機能
- 通信時間を効率化させるためのマクロ/マイクロ セルの概念を導入
- より大きなカバレッジ セル内の 1 つのエリアにより多くの帯域幅を適用
- 非線形トラフィックの処理に使用可能

- 1 台の AP で高密度エクスペリエンス（HDX）を拡大
- XOR 無線はバンド サービス クライアントまたはモニタ モードでユーザ選択可能

内部アンテナ（「I」シリーズ モデル）で FRA を使用すると、2 台の 5-GHz 無線をマイクロ/マクロ セル モードで使用できます。外部アンテナ（「E/P」モデル）で FRA を使用すると、2 つの完全に分離したマクロ セル（ワイド エリア セル）または 2 つのマイクロ セル（スモール セル）を作成できるようにアンテナを配置し、HDX または任意の組み合わせを実現できます。